

平成28年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	串間市アクティブセンター
所在地	串間市大字西方6524-88
指定管理者	名 称 特定非営利活動法人 元気になるう会 代表者 理事長 谷口 直美 住 所 串間市大字西方716番地
モニタリングの実施方針・方法等	毎月、業務報告書の提出をうけ、モニタリングを行った。 また、指定管理者による適切かつ確実なサービスが確保されているかの確認を、指定管理者制度運用指針のチェックシートに基づき実施し、施設管理運営評価モニター会議にも意見、評価を求めた。
担当課 (問い合わせ先)	商工観光スポーツランド推進課 商工係

■モニタリングの総合コメント

アクティブセンターの管理運営について市民相互の交流促進等、設置目的に応じた自主事業を実施するなど住民サービスが提供できている。また、定期的に開催している連絡調整会議を通じて、市と指定管理者間の意思疎通を図ることができた。

■今後の業務改善に向けた考え方

平成28年度の利用者数は19,304人と平成27年度(20,344人)に比べ、1,040人減少した。今後は自主事業である「失業者支援事業」に力を入れ、利用者のニーズに応えられるよう、求人情報の充実を図っていく。

具体的には、市内にハローワークが設置されていないこと、市が県境に位置していることから、ハローワーク日南及びハローワーク大隅と連携し、常に最新の情報提供に努める。また、ハローワークからの情報以外にも、インターネットや求人情報誌等を活用して、多くの求人情報を収集し、多くの就職希望者の早期就職実現に向けて支援していく。

■ 基本的な考え方(施設の性格・目的との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性
施設の設置目的を理解し、施設目的に沿った利用がなされている。 また、自主事業においても施設目的に沿った内容、市民が利用しやすい取り組みが行われており、勤労者の健康増進や交流の場としての機能を果たしている。

■ 業務内容

・機能性・独創性(事業への具体的な取り組み方)
自主事業として、8事業に取り組みほぼ計画通り、開催している。一回の開催で500人が受講する事業もあり、市民のニーズにあった取り組みを行っている。また、定期的に研修室、教養文化室の利用があり、市民相互の交流の場として機能している。
・責任性・実効性(施設の運営体制や組織)
基本協定書に基づき、適正な管理運営が行われている。物的施設としても日々維持管理できており、連絡調整会議等において市と指定管理者間の意思疎通も十分なされている。
・明瞭性・規律性(適正な事務や経理)
毎月の利用状況報告、決算報告、自主事業報告については適正に報告されている。
・安全性(安全管理、緊急時等の対応)
事故・事件等は特に発生していない。施設老朽化に伴う施設修繕箇所に関する行政への報告も迅速に行われている。また、年に2回の防災訓練も実施している。
・社会性(環境等への配慮)
施設外周の環境整備や施設内の清掃も行き届いており、利用者が快適に施設を使用できる環境づくりに努めている。

■ 事業収支

経済性
団体の性格から、収入は指定管理委託料が主であり、指定管理委託料内での運営となっている。平成28年度の収支は、収入の10,320,033円に対し、支出が9,864,374円となっており、収入が支出を455,659円上回った。経費については、必要最低限でまかなっており、経済的な運営がなされている。

■ 団体の経営状態

経営の健全性
経営面における借入や損失はなく、運営業務に関しては指定管理委託料内で計画的な執行がなされており、自主事業に関してもさまざまな取り組みがなされていた。